

園芸市場情報

平成30年5月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発 行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住 所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電 話：03-5492-5416・5407
F A X：03-5492-5407

5月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を下回り、相場は前年を下回るか！

果実類は、入荷量は前年を下回り、相場は前年並か！

花 き は、入荷量は前年を下回り、相場は前年を上回るか！

<今月の写真>

* 有利販売への取り組み！ *

平成30年4月26日(木)大田市場において、千葉県産初夏ねぎ販売会議が開催されました。

初夏ねぎについては、春ねぎと夏ねぎの端境を埋める作型として、九十九里地区の3農業事務所と3農協が連携しながら取り組みを始め、全農千葉県本部及び(公社)千葉県園芸協会の支援を受けつつ「オール千葉」の取り組みとして3年前から出荷が始まりました。

本年は、予定よりも少し早く4月21日(土)から販売が開始されましたが、全体がまとまるこの時期に販売会議が開催され、今回はJAちば東葛と東葛農協農業事務所の普及指導員も参加しました。

会議では、全農千葉県本部からの情勢報告と規格統一の提案の後、各産地の農協職員と普及指導員から、現状の作柄や今後の出荷計画が、各市場からは、今後の販売方針等の説明がありました。

今シーズンは、冬場の低温から一転して3月下旬からの高温という難しい気候の中にもかかわらず、しっかりと技術で高品質なねぎが出荷されており、高い評価を受け販売されています。

5月11日(金)には大田市場で、更なる販売促進に向けた合同試食会を開催することとしています。

今後も関係者による、産地と市場を繋ぐ有利販売に向けた取り組みが続いていきます。



市場関係者、全農、農協関係者、普及指導員を交えての現品確認。
良い品質のものが揃っています。

左：他県産との比較
右：プレミアム夏ねぎのシールを貼って差別化を図り、ブランド化を目指しています。
3年目の今年は評価を固める正念場の年です。

CONTENTS (目次)

I 青果情報

- 01 4月（中旬まで）の経過
 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
 04 5月の見通し
 05 今月の青果物
 特集「にんじん」

II 花き（切花）情報

- 06 4月（中旬まで）の経過（販売経過、品目別経過）
 5月の見通し（カーネーション・トルコギキョウ）
 3月の入荷量と単価の経過 <確定値>

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 07 3月の青果物と花き

IV 平成29年の青果物・花き

- 08 東京都中央卸売市場の平成29年を振り返って

V やっちゃんば閑話

- 09 物の流れを点検しよう！

VI 首都圏掲示板

- 10 染めの花々
 初夏の味 たけのこ・そらまめ

用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	急騰	：前日に比べ大幅に価格が上がる。（3割程度以上）	変動の幅を示す用語	平年並	：±2%以内
	強い	：前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	：±3～5%
	強保合	：前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	：±6～15%
	保合	：前日とほとんど同じ価格。		大幅	：±16%以上
	弱保合	：前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	：前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	：前日に比べ大幅に価格が下がる。（3割程度以上）			
	まちまち	：産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 3月下旬～4月中旬までの経過

気象	<p>3月下旬以降、移動性高気圧に覆われて晴れる日が多く、季節外れの暖かい日も多かった。</p> <p>気温は、全国的に平年を上回り、特に関東地方は平年よりも気温が高くなった。</p> <p>降水量は、東北、北陸、中部、近畿地方の一部を除き、全国的に平年より少なくなった。</p> <p>日照時間は、東北の一部地域を除き、全国的に平年を上回った。</p>
----	---

野菜類

入荷量	<p>関東産、西南暖地産が中心となった。3月下旬の入荷量は2月の低温の影響を受け前年を下回ったが、3月下旬からは気温の高い日が多く、4月上・中旬は平年並の入荷となった。</p> <p>入荷量は、「にんじん」「たまねぎ」等多くの品目が前年を下回り、「はくさい」等の一部品目は前年を上回った。</p> <p>野菜全体では、3月下旬から4月中旬までの入荷量は130,696 t（前年比95.0%）と前年をやや下回った。</p>
相場	<p>野菜類は入荷量の増加とともに高値の反動から、全体的に下げ基調となった。価格は多くの品目で前年を下回り、特に入荷の多かった「はくさい」は前年比39.3%と前年を大幅に下回った。主産地の生育遅れから入荷量が少なかった「にんじん」など一部の品目が前年を上回った。</p> <p>野菜全体では、3月下旬から4月中旬までの平均価格は232円/kg（前年比87.0%）と前年をかなり下回った。</p>

果実類

入荷量	<p>「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に前回、「すいか類」「びわ」の入荷量が増加した。</p> <p>入荷量は、「かんきつ類」「りんご類」はいずれも前年を下回り、「いちご類」は降雪後の気温上昇とその後の成り疲れ等から4月上旬を除き前年を下回った。主産地の生育が遅れていた「すいか類」「びわ」は回復傾向となった。</p> <p>果実全体では、3月下旬から4月中旬の入荷量が26,180t（前年比84.3%）と多かった前年を大幅に下回った。</p>
相場	<p>価格は、入荷量が少ない「りんご類」は前年を大幅に上回った。「かんきつ類」「いちご類」も不足感が続き、高かった前年並となった。</p> <p>果実全体では、3月下旬から4月中旬の価格が498円/kg（前年比105.6%）と高かった前年をかなり上回った。</p>

東京都中央卸売市場における入荷量と価格

平成30年3月下旬～4月中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	3月下旬				4月上旬				4月中旬				3月下旬～4月中旬合計			
	開市日数 本年8日・前年9日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年22日・前年23日			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	44,776	89.1	245	92.1	43,252	102.1	223	81.1	42,669	94.8	229	87.8	130,696	95.0	232	87.0
うち外国産	1,708	101.2	207	69.4	1,490	105.7	204	66.3	1,384	100.3	219	74.9	4,582	102.3	210	70.0
果実総量	9,671	77.5	493	104.0	8,496	90.9	518	105.7	8,012	86.8	481	107.5	26,180	84.3	498	105.6
うち外国産	1,552	83.8	233	106.1	1,483	99.7	234	105.7	1,411	77.7	255	110.1	4,446	86.3	240	107.1

主要品目一覧(都中央全体)

(単位:t、%、円/kg)

品目 (野菜)	3月下旬				4月上旬				4月中旬				3月下旬～4月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	4,478	93.6	82	84.3	3,871	96.8	73	68.2	3,471	88.2	86	95.8	11,820	92.9	81	81.8
にんじん	1,983	62.8	212	121.1	2,270	84.7	210	120.0	2,182	77.5	213	116.1	6,435	74.4	211	119.1
はくさい	2,330	107.5	113	64.2	2,412	136.9	40	20.7	2,254	102.2	49	32.9	6,996	114.1	67	39.3
キャベツ類	6,432	91.5	118	91.7	5,971	97.1	95	68.4	6,429	90.4	99	86.5	18,832	92.8	104	82.2
ほうれんそう	486	94.1	421	97.9	412	98.2	420	86.1	316	85.0	591	125.8	1,214	92.8	465	101.1
ねぎ	1,446	92.2	302	87.8	1,223	91.4	239	72.5	1,216	94.8	295	87.7	3,885	92.7	280	83.0
レタス類	3,118	107.5	147	76.4	2,615	109.3	145	65.7	2,508	92.5	159	87.6	8,241	103.0	150	76.1
きゅうり	2,449	87.1	300	110.1	2,705	114.3	225	82.6	2,503	108.9	209	73.1	7,657	102.4	244	88.1
なす	750	74.1	451	108.5	1,057	118.1	351	78.9	861	103.9	374	81.9	2,668	97.5	387	88.3
トマト	2,557	90.0	344	92.8	2,713	108.5	338	90.5	2,553	90.8	331	96.3	7,822	95.9	338	93.2
ピーマン	733	81.4	482	108.8	757	101.8	414	99.6	875	113.7	373	88.7	2,365	98.0	420	98.3
さといも	136	70.7	298	118.4	127	77.8	261	110.5	124	92.4	247	103.5	388	79.0	269	110.9
ばれいしょ類	2,727	91.2	103	46.6	2,735	93.5	110	47.9	2,940	95.8	112	48.8	8,403	93.5	108	47.8
たまねぎ	3,474	69.4	127	94.6	3,553	92.0	108	79.7	4,102	105.0	99	74.1	11,130	87.1	111	82.3
生しいたけ	230	88.9	863	92.1	194	96.1	810	87.1	181	95.0	868	93.9	605	92.9	848	91.0
かぼちゃ	932	116.0	139	55.0	836	138.8	129	47.5	789	118.9	170	65.3	2,557	123.6	145	55.7
さやえんどう	92	103.8	792	80.0	89	118.6	867	82.6	80	110.3	921	81.3	261	110.5	857	81.4
かんしょ	785	77.5	217	101.7	713	88.5	204	96.5	696	88.4	198	94.9	2,194	84.2	207	97.8
かぶ	501	94.3	131	84.7	497	117.5	123	82.3	488	99.3	121	83.7	1,486	102.8	125	83.5
ごぼう	145	59.5	456	113.2	156	79.9	404	91.5	180	77.3	411	107.0	481	71.6	422	103.6
こまつ菜	435	91.0	206	79.5	384	97.1	217	74.4	371	86.9	296	111.9	1,190	91.5	238	87.8
こねぎ	180	93.3	682	103.1	148	96.9	639	100.6	157	94.7	622	98.8	485	94.8	650	101.0
糸みつば	55	86.3	347	94.5	48	96.1	339	93.8	49	99.3	320	90.9	152	93.2	336	93.0
しゅんぎく	64	85.5	600	106.2	44	84.0	557	93.9	33	75.1	706	120.7	140	82.4	611	105.6
にら	306	89.6	466	85.7	263	89.8	451	80.9	288	97.2	440	79.6	856	92.1	453	82.2
セルリー	333	88.7	261	102.0	289	101.5	299	96.9	291	88.9	284	91.6	913	92.5	281	97.0
カリフラワー	70	72.3	296	97.0	73	86.1	307	102.4	91	73.4	262	115.4	233	76.6	286	105.2
ブロッコリー	1,118	96.7	344	107.5	894	90.1	344	93.1	586	60.5	552	131.6	2,598	83.4	391	106.6
サラダな	38	80.3	286	95.7	37	95.3	260	83.5	39	105.4	244	76.7	114	92.5	263	85.3
パセリ	27	86.2	698	101.6	27	113.7	627	97.4	24	102.0	676	106.2	79	99.3	667	101.2
チンゲンサイ	153	96.3	240	90.1	142	107.0	226	82.0	137	92.5	239	84.5	432	98.3	235	85.6
エンダイブ	5	88.2	490	69.6	5	92.9	469	74.1	5	95.8	590	106.0	15	92.1	517	81.5
ミニトマト	750	101.3	562	89.5	764	123.0	546	88.7	706	98.7	541	93.9	2,220	106.9	550	90.7
とうもろこし	4	93.1	470	108.8	6	167.4	472	94.5	18	180.8	514	83.6	28	155.9	499	91.3
いんげん	118	105.1	730	86.4	105	112.6	699	81.6	97	114.7	826	90.8	320	110.3	749	86.3
そらまめ	199	105.6	545	83.6	240	126.8	421	73.8	240	97.4	413	79.0	679	108.8	455	78.9
えだまめ	9	81.9	1,174	123.8	10	98.3	1,050	109.9	10	91.2	1,180	111.7	30	90.2	1,135	114.9
やまといも	48	88.4	587	86.7	39	86.0	596	88.0	47	102.5	591	88.0	134	92.1	591	87.5
根しょうが	114	86.5	633	95.9	106	93.5	673	96.4	118	96.9	680	94.8	338	92.1	662	95.8
マッシュルーム	54	105.0	842	97.9	44	99.7	829	99.1	44	101.7	842	98.6	142	102.3	838	98.5

品目 (果実)	3月下旬				4月上旬				4月中旬				3月下旬～4月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
みかん類	410	137.9	317	81.9	123	103.2	334	64.8	22	65.5	601	90.3	555	123.3	332	75.1
かんきつ類	3,579	75.3	303	99.5	2,871	88.2	296	96.4	2,722	88.9	295	97.3	9,172	82.8	299	97.9
りんご類	1,995	68.3	331	128.2	1,625	73.0	338	130.7	1,581	80.8	348	136.0	5,200	73.2	339	131.3
(ふじ)	1,674	67.2	333	130.5	1,343	69.3	340	133.4	1,287	76.0	349	138.7	4,304	70.3	340	133.8
いちご類	1,715	77.0	1,237	102.1	1,882	103.7	1,152	96.6	1,438	89.1	1,050	100.1	5,035	89.0	1,152	99.4
(とちおとめ)	790	81.1	1,120	100.2	850	103.7	1,083	95.6	719	92.9	1,012	101.7	2,359	91.9	1,074	98.9
(あまおう)	325	71.1	1,416	102.7	389	101.0	1,247	96.9	237	76.0	1,091	97.0	951	82.4	1,266	98.9
メロン類	225	90.4	714	87.4	231	95.6	670	92.4	232	71.6	772	118.5	688	84.5	719	99.3
(アールスメロン)	87	79.4	1,380	109.3	79	101.3	1,185	102.5	76	91.4	1,136	116.2	241	89.4	1,240	108.3
(アムスメロン)	3	745.1	705	98.9	0	400.0	676	104.3	0	19.6	584	104.3	3	232.3	696	115.0
びわ	4	50.2	3,552	121.8	11	72.4	2,716	111.6	23	91.0	2,283	105.4	39	78.4	2,545	107.1
すいか類	230	84.8	394	105.4	360	105.3	375	104.6	664	99.6	361	110.6	1,254	98.0	371	107.5
(すいか大王)	166	84.4	332	106.2	270	116.0	328	108.9	524	100.4	331	112.2	960	100.9	331	110.0
(こだますいか)	64	85.8	557	103.7	90	82.5	517	107.2	140	96.8	473	107.7	294	89.5	505	106.1
ぶどう類	38	57.8	445	112.6	45	74.9	433	109.9	46	70.5	526	127.0	129	67.5	469	117.0

主要品目一覧(都中央千葉県産)

品目 (野菜)	3月下旬				4月上旬				4月中旬				3月下旬～4月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	2,697	125.4	93	87.7	2,981	122.8	76	66.3	2,680	90.2	87	94.2	8,358	110.7	85	82.2
にんじん	674	124.4	212	146.8	233	103.6	175	138.0	45	52.0	177	124.6	952	111.6	202	144.3
はくさい	6	28190.0	70	128.8	13	82.8	43	26.1	7	34.9	44	28.9	26	70.8	49	31.1
キャベツ類	1,028	84.7	121	98.2	785	118.2	102	78.3	876	103.4	98	81.0	2,689	98.7	108	86.9
ほうれんそう	48	71.4	331	95.7	31	69.7	388	94.5	20	47.1	460	120.5	99	64.2	375	100.1
ねぎ	606	81.6	321	92.3	540	88.6	243	72.7	517	92.5	291	88.0	1,663	87.0	287	84.6
レタス類	123	94.3	160	87.2	71	86.8	175	78.9	53	73.2	200	96.5	247	86.8	173	86.2
きゅうり	358	80.9	276	109.7	381	110.7	203	80.9	297	112.5	191	72.6	1,036	98.6	225	88.4
なす	11	108.9	537	97.3	17	115.5	435	81.7	18	85.7	393	87.1	46	100.3	444	88.8
トマト	135	75.4	323	95.3	152	92.1	313	94.7	143	71.5	300	98.5	430	79.0	312	96.3
ピーマン	1	68.7	787	110.4	0	27.7	649	113.4	1	80.8	452	83.5	2	62.0	585	97.5
さといも	32	69.4	299	138.5	25	53.3	262	125.2	25	76.7	259	120.0	82	65.2	276	129.2
かんしょ	404	77.8	207	102.3	392	97.4	201	96.3	396	92.5	195	95.6	1,192	88.3	201	98.2
かぶ	449	92.5	130	83.6	440	119.0	122	80.9	423	102.2	122	82.9	1,313	103.4	125	82.4
こまつ菜	17	72.2	222	90.9	15	95.5	257	92.3	15	101.6	298	110.3	46	86.8	257	98.4
しゅんぎく	17	90.9	628	110.6	13	97.2	616	99.0	9	76.6	780	122.4	38	88.9	660	109.3
サラダな	14	83.9	266	88.0	13	98.1	235	77.6	13	96.7	233	74.1	40	92.3	245	80.0
パセリ	12	97.4	671	101.5	12	121.3	581	95.3	12	107.4	636	110.5	36	108.1	628	101.9
ミニトマト	61	98.8	616	91.2	65	113.6	592	90.6	52	88.2	583	92.8	178	100.1	598	91.5
いんげん	0	58.1	1,842	108.9	3	243.5	1,499	98.6	6	201.4	1,622	107.4	10	191.7	1,594	103.7
そらまめ	0	41.5	708	103.3	1	140.9	476	82.1	4	176.8	497	99.9	5	164.3	498	95.8
やまといも	28	85.1	592	89.0	24	81.7	603	89.7	31	107.4	600	90.0	83	91.0	598	89.5

品目 (果実)	3月下旬				4月上旬				4月中旬				3月下旬～4月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
メロン類	5	65.3	1,390	109.8	5	123.7	888	81.6	4	52.3	996	132.4	14	73.8	1,090	105.8
(アールスメロン)	5	65.3	1,390	109.8	5	123.7	888	81.6	4	70.5	1,001	124.2	14	81.8	1,092	101.3

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。-は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料: 東京青果物情報センター速報

2 5月の見通し

野菜

春野菜の最盛期となり、関東が中心産地となる。

5月は重量野菜、果菜類を中心に生育は順調。「だいこん」「たまねぎ」の入荷量は多かった前年をさらに上回る見込み。「キャベツ類」「きゅうり」は多かった前年並だが、平年は上回る見込み。「にんじん」は多かった前年を下回るが、平年並の入荷が見込まれる。野菜類全体では、多かった前年を下回るが平年は上回る見込み。

価格は、「だいこん」「キャベツ類」「たまねぎ」等で前年を下回り、野菜類全体でも前年を下回る見込み。

果実

「メロン類」「すいか類」「びわ」「マンゴー」「おうとう」に加え、「ぶどう」「もも」も入荷量が増え、「かんきつ類」「いちご」は終盤に向かう。

入荷量は、「メロン類」「すいか類」は主産地で生育遅れが回復し、3月以降の好天で玉の肥大が進み前年並の見込み。「びわ」は寒波の影響で出回りが遅れていたものの、露地ものの出荷が始まることで数量が増え、多かった前年を下回るが平年並の見込み。果実全体では前年を下回る見込み。

価格は、高値の反動はあるものの、前年並の見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	↗	↗↗	↘↘	↘↘	主産地は千葉県。気温高により生育は前進傾向。入荷量は、多かった前年をやや上回り、平年をかなり上回る見込み。
にんじん	↘↘	⇒	↗↗	↗	主産地は徳島、千葉県。徳島県は生育遅れから回復、千葉県は生育順調。入荷量は多かった前年をかなり下回り、平年並の見込み。
キャベツ類	⇒	↗↗	↓↓↓	↓↓↓	主産地は千葉、神奈川県。両県に加え、愛知県も生育は順調である。入荷量は、多かった前年並で、平年をかなり上回る見込み。
ねぎ	⇒	⇒	⇒	⇒	主産地は茨城、千葉県。3月以降の気温高のため両県とも生育は順調で、肥大も平年並。入荷量は、前年及び平年並の見込み。
きゅうり	⇒	↗	⇒	⇒	主産地は埼玉、群馬県。両県で目立った病害はなく、生育は順調である。入荷量は、多かった前年並で、平年をやや上回る見込み。
トマト	⇒	⇒	⇒	↘	主産地は熊本、栃木県。両県やや遅れていたが、今後安定化に向かうと見込まれる。入荷量は、前年及び平年並の見込み。
たまねぎ	↗	↗↗	↘↘	↘	主産地は佐賀県、北海道。佐賀県では遅れが回復し、生育は順調。入荷量は、多かった前年をやや上回り、平年をかなり上回る見込み。
大玉すいか	↗↗	↗↗	⇒	↗↗	主産地は熊本、千葉県。千葉県はおおむね生育順調で、熊本県は出荷増の見込み。入荷量は、前年及び平年をかなり上回る見込み。
びわ	↓↓↓	⇒	↗↗	↗	主産地は長崎、千葉県。寒波で出遅れていた長崎県は回復に向かう。入荷量は、多かった前年を大幅に下回るが、平年並の見込み。

増加 減少

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↗↗, ↓↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 今月の青果物

にんじん

主要産地のにんじんの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	29年5月入荷量	29年5月シェア率
千葉県	2,317 t	25.4 %
徳島県	6,183 t	67.8 %
青森県	2 t	0.0 %
北海道	1 t	0.0 %

今後の競合産地の動向は?

東京都中央卸売市場における春夏にんじんの主産地は、徳島県、千葉県、青森県、北海道です。4~5月は徳島県産が中心となり、5月中旬以降は千葉県産、7月以降は青森県産と北海道産と、西から東へと主産地が切り替わります。

本年は、主産地の徳島県が冬期の低温干ばつにより生育が遅れ、出始めから小もの出回り多くなりました。また、昨年の台風によって播種作業が11~12月に集中したこともあり、4月上中旬の入荷量は、前年及び平年を下回りました。

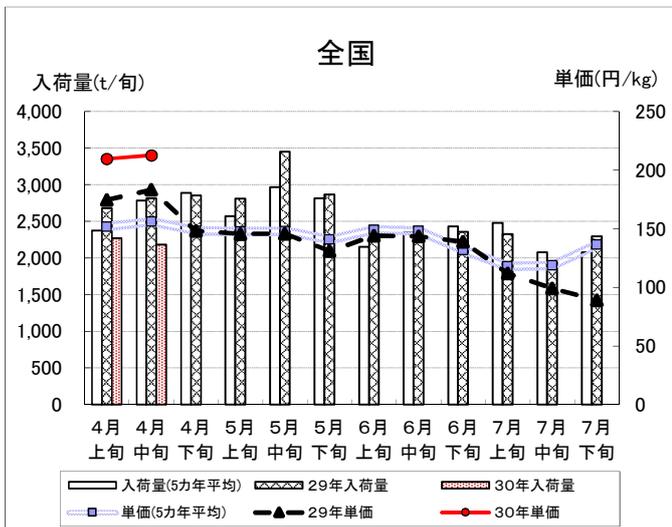
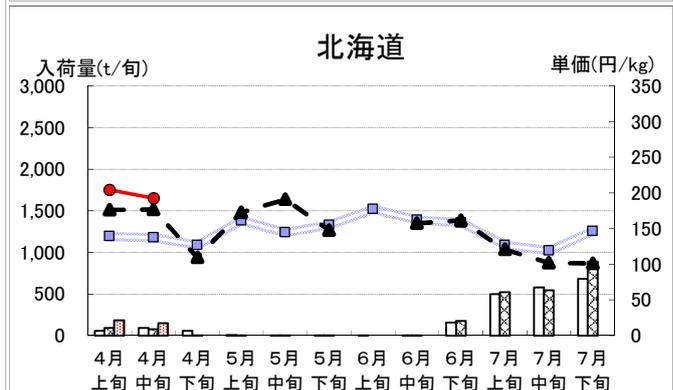
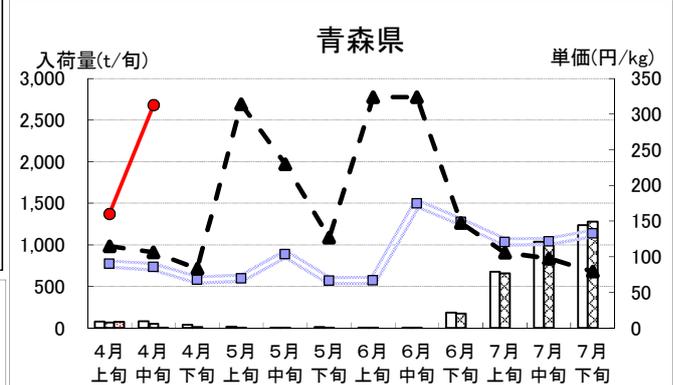
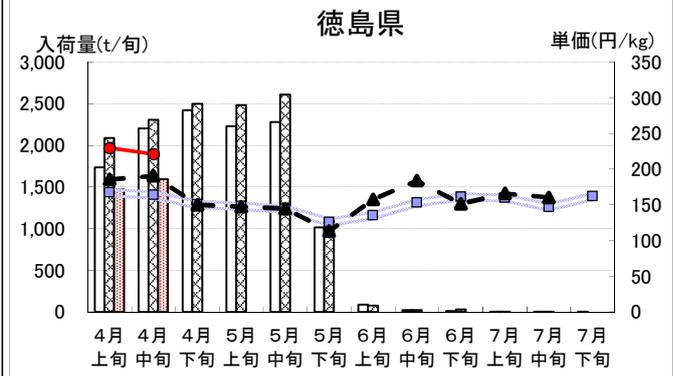
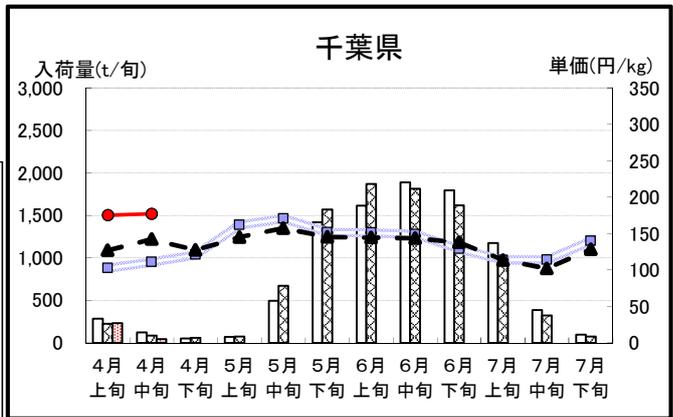
後続産地である千葉県を含む5月の入荷見込みは以下のとおりです。

徳島県産は、肥大の遅れから回復し、播種時期が集中した影響から出荷のピークが遅れる見込みです。入荷量は、多かった前年を下回るも平年並と見込みです。

千葉県産は、低温と一部地域では降雪の影響で播種の遅れがあったものの、その後の気温高と適度な降雨により生育は回復傾向にあります。入荷量は、多かった前年を下回るものの平年並と見込まれます。

全体の入荷量としては、多かった前年を下回るものの、平年並の見込みです。

5月入荷予測	8,100t(前年比88.8%、平年比97.0%)		
5月価格予測	150円(前年比106.4%、平年比103.0%)		
5月市況予測	(上旬) 弱保合 ↘	(中旬) 保合 ⇒	(下旬) 弱保合 ↘



Ⅱ 花き(切花)情報

4月(中旬)までの経過

需要の少ない時期であるが、入荷量は平年をやや上回り、相場は平年をかなり下回った。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	気温高の影響により入荷は前年をかなり上回り、平年をやや上回った。外国産のトルコキキョウは前年及び平年を大幅に上回った。
相場	相場は前年及び平年をかなり下回った。
動向	春物商材からヒマワリなどの夏物商材に移行する時期。

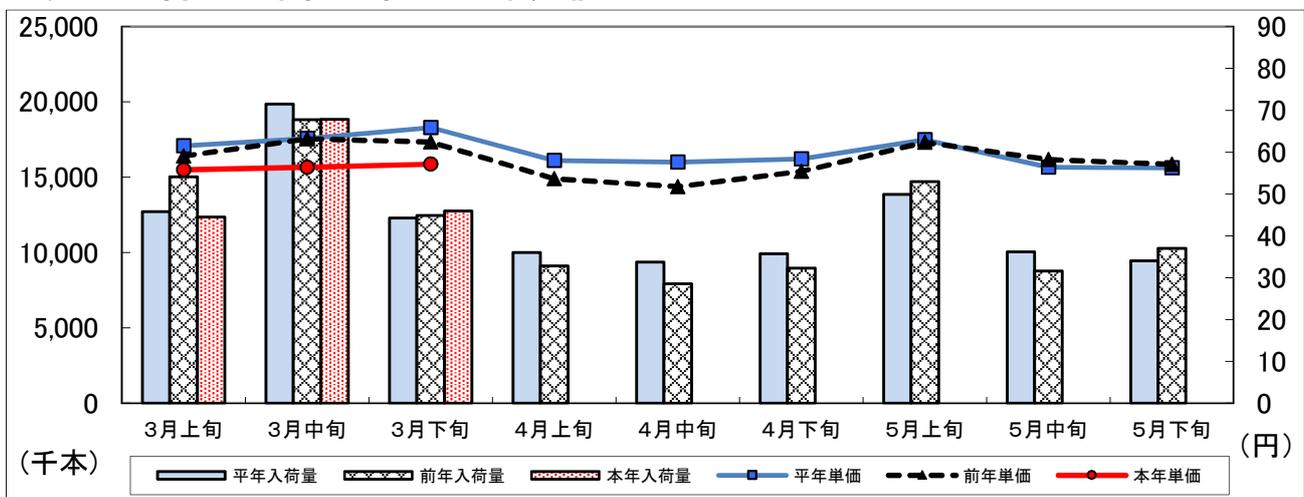
品目別経過

品目	経過
トルコキキョウ	大田花き 各産地、気温が低い日もあり入荷量がまとまらなかった。作付けの増加している沖縄県産は本格出荷となり、安定した入荷が続いた。前半は潤沢感もあり相場は伸び悩んだが、徐々に回復傾向となった。
	東京フラワーポート 輸入物は品質の低い物も多くあり、かなり厳しい価格帯での取引となった。

5月の見通し

品目	見通し
カーネーション	F A J 千葉県産は4月の集中出荷に伴い、母の日の需の要期に入荷量が減少する見込み。品質低下が危ぶまれている。
	東京フラワーポート 母の日の需要期に向け、相場は徐々に上がるが、国産は4月天候が良好で、前進傾向のため入荷量は少なくなる見込み。
トルコキキョウ	大田花き 西南産地は気温上昇とともに数量増加の見込み。母の日に関しては引き合いも強まりピンク系中心に動きが見込まれる。

3月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成
平年値は過去3カ年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	H30.3月				累計 (H30.1～H30.3月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
野菜	23,414	1.04	194	0.97	61,582	0.95	228	1.15
だいこん	2,714	0.97	115	1.26	6,734	0.83	150	1.75
にんじん	1,019	0.87	185	1.10	3,316	0.85	166	1.11
はくさい	1,011	0.90	131	0.96	4,860	0.88	134	1.34
キャベツ	4,558	0.98	119	1.11	10,125	0.84	162	1.53
ねぎ	897	0.87	324	1.13	2,641	0.89	341	1.20
トマト	758	0.94	360	0.94	1,993	0.97	386	0.93
きゅうり	788	0.95	297	1.10	1,781	0.79	357	1.17
ばれいしょ	1,750	1.08	113	0.50	4,689	1.21	119	0.53
たまねぎ	2,324	1.05	111	0.94	6,305	1.04	107	1.07
レタス	1,157	1.27	163	0.90	2,552	0.94	275	1.39
果実	4,527	0.95	423	1.08	13,060	0.86	428	1.14
みかん	565	1.31	264	0.92	3,113	0.73	316	1.28
かき類	0	0.17	341	0.91	109	0.72	332	1.16
グレープフルーツ	92	0.89	259	1.16	232	1.06	253	1.07
なし類	0	0.07	265	1.10	33	2.18	303	1.13
ぶどう類	54	1.39	438	1.28	74	0.94	491	1.40
いちご類	700	1.07	1,160	1.00	1,738	0.98	1,247	1.02
すいか類	18	0.64	481	1.18	21	0.61	472	1.16
メロン類	90	0.62	293	1.31	197	0.87	305	0.92
バナナ	422	1.00	173	1.04	1,163	0.92	166	1.07
りんご	726	0.85	320	1.28	2,119	1.00	295	1.09
その他	298	1.03	171	0.99	819	0.96	206	1.00
青果物合計	28,239	1.02	231	0.99	75,461	0.93	263	1.13

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	H30.3月				累計 (H30.1～H30.3月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
切り花	5,437	0.91	58	0.93	11,276	0.91	62	1.03
きく	1,742	0.94	66	0.92	3,614	0.91	67	0.96
バラ	221	0.91	83	1.03	506	0.94	79	1.08
カーネーション	811	1.01	45	0.90	1,563	1.06	46	0.98
枝物	98	0.83	103	1.00	285	0.89	106	1.01
鉢物	111	1.00	164	0.95	252	0.94	156	1.07
その他	8	2.00	43	0.60	10	1.25	49	0.90
花き合計	5,654	0.91	61	0.93	11,823	0.91	65	1.03

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

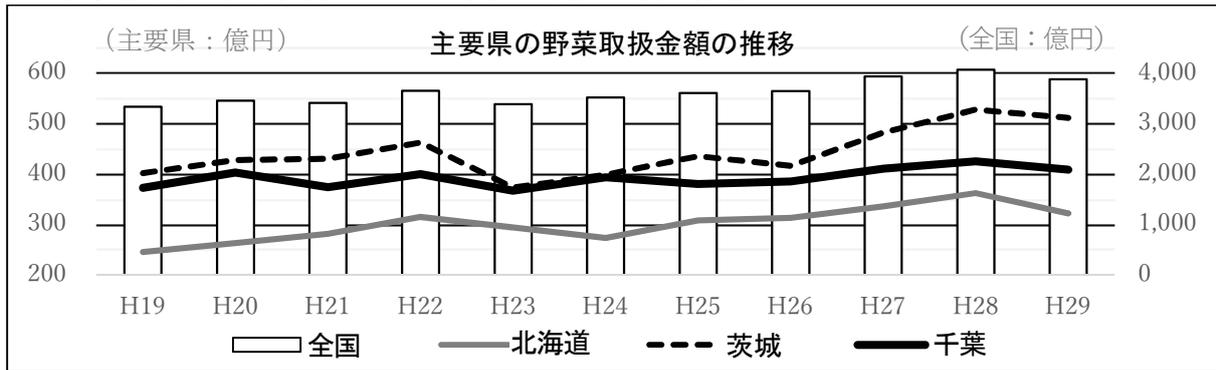
IV 平成29年の青果物・花き

東京都中央卸売市場の平成29年を振り返って

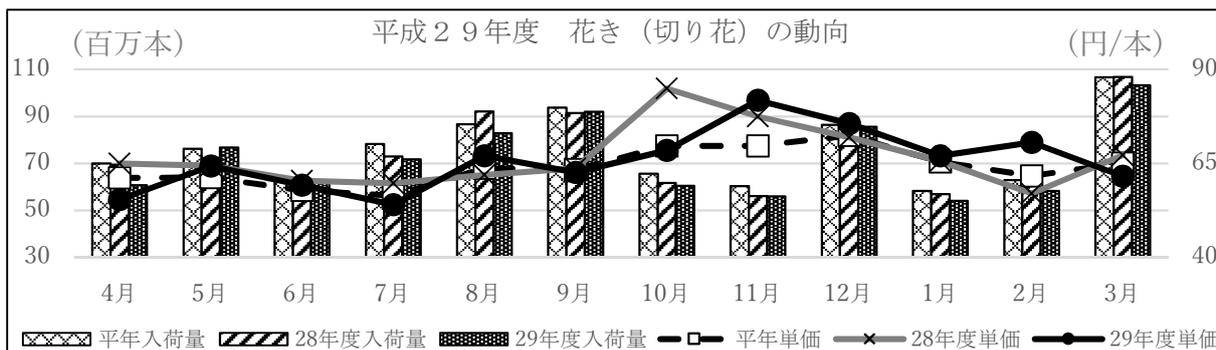
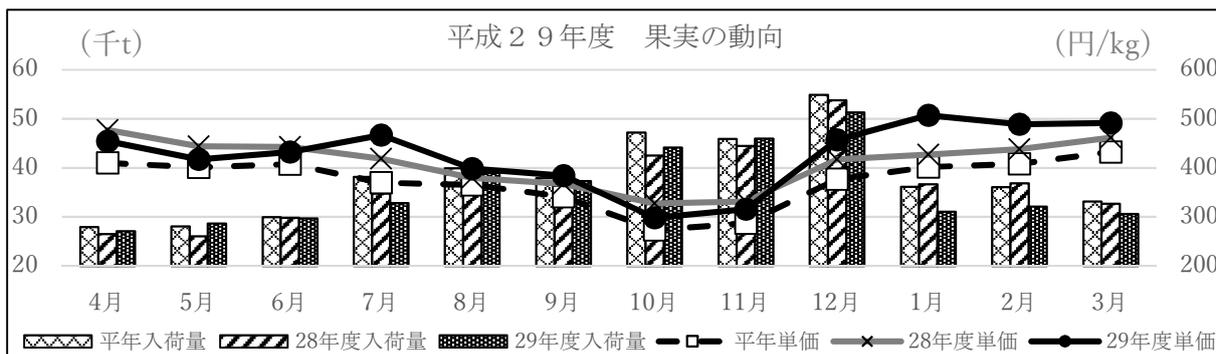
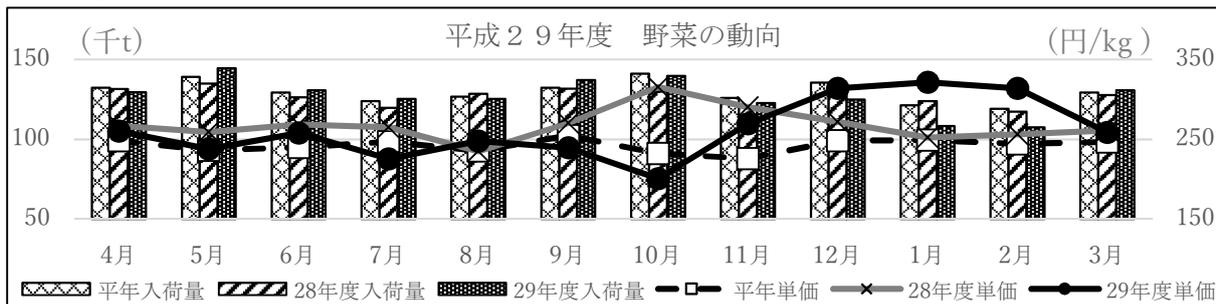
青果物：東京青果物情報センター速報 花き：東京都中央卸売市場統計

野菜は、秋までは豊作傾向であったが、10月の日照不足と台風被害により本県を中心に大きな被害を受け、冬野菜の入荷量の減少に伴いかつて無い程の大幅な高値となった。果実は、「みかん類」「りんご類」の入荷減などにより大幅な高値となった。

○ 東京都中央卸売市場における野菜の取扱金額の推移



○ 東京都中央卸売市場における平成29年度 野菜・果実・花きの動向



V や っ ら っ ば 閑 話

物の流れと点検しよう！

大田市場は、平成元年（1989年）5月6日に青果部、9月18日に水産物部、平成2年9月8日に花き部が開業した。

本年は、青果部・水産物部が開業してちょうど30年目にあたる。

開業直後の平成2年の青果物の取扱量は851,190t、取扱金額は2,521億円、平成29年の取扱量は979,075t、取扱金額は2,949億円である。

入荷量を開業日数263日で割ると、一日当たり3,723tが大田市場を経由しており、これは、12tトラックで約310台ということとなる。

開業当時は「こんなに広い売り場どう使うの？」という話もあったようだが、今となっては、荷下ろしや荷を捌くスペースも不足している。そこで、荷物の一部は、売買先への直送や、卸売会社の一時ストック場所に搬入されているのが実態である。

この30年間に大田市場では、冷蔵庫の増設、買参人駐車スペースの全天候化、仲卸用のロジスティック棟の新設など時代のニーズに合わせた改修が行われ、現在も新たな定温荷捌きパック詰め施設「プロセスセンター」を本年度内の竣工に向けて建設中である。

一方場外においても、市場の近隣に冷蔵倉庫が次々と新設されており、青果物のコールドチェーン化の中で、卸や仲卸によるこれら倉庫の活用が進んでいる。

コールドチェーン化に取り組んだことにより、仲卸でのロスが8割削減された例もあるとのことで、品質向上のみならず利益率向上にも役立つ技術であるようだ。

販売というと量と価格に目をとられがちだが、物が動かなければ販売にはつながらない。物流が伴わなければ金にはならないということである。当たり前のことなのだが、これがなかなか難しいようだ。特に最近では、宅配量の増加や運転手の長時間労働問題に端を発する運転手不足に加え、燃料費の上昇による運賃値上げなどもあり、遠隔地からの物流は苦勞しているようである。

本県の場合、距離は近いのだが帰りの荷物がないために、街道筋の各県から見ると運賃が割高になっている場合もあるようだ。

目を転じて産地を見ると、高齢化が進み、自動車運転免許証を返納したことで出荷ができずに辞めてしまうというケースも増えてきているようである。

生産量減少の抜本的な対策とはならないのだが、次の生産拡大へ繋ぐためにも集荷システムの構築は必要なのではないかと思われる。産地においては様々な問題もあると思うが、是非検討を願いしたいところである。

産地における生産事情、物流や中間業者を取り巻く環境が大きく変わって来ている中で、生産者から消費者までのスムーズな物流を実現し販売するために、物の流れを再点検してみてはいかがでしょうか。

(やっちやばヨットマンⅢ)

VI 首都圏揭示板



染めの花々

4月になり花き市場は入荷量や種類が増え、色とりどりの花を見かけるようになりました。花はその色によって引き合いが強くなる時期があり、赤はクリスマスやバレンタイン、ピンクは春のお祝い行事、最近ではオレンジのハロウィンへの需要が注目されています。一方、品目によっては色のバリエーションがほぼ白だけの物もあります。そのような品目でも「染め」を行い色を付けて出荷する事例も見られます。熊本県産の湿地性カラーの品種のアンナカラー©や、鹿児島県産の鉄砲ユリの品種のプチホルンなどで取組みが行われています。また、オランダ産のカーネーションは複色で染められていました。

染めは、まだ一部の出荷物ではありますが、新たな需要の可能性を感じさせます。



カラーの染めセット



鉄砲ユリの染め



複色染めカーネーション



初夏の味 たけのこ、そらまめ

初夏の季語である「筍（たけのこ）」ですが、市場出荷のピークは例年4月の上中旬に迎えます。今季、大田市場へは昨年の12月から出荷が始まり、国産では主産地の九州のほか、京都や石川、千葉等からの出荷物が5月上旬まで市場を賑わせます。

たけのこの出荷形態はビニール袋、プラスチック製の網カゴ、段ボール、化粧箱、発砲スチロールと様々です。デザインに趣向を凝らした化粧箱は高級感があり、「食べてみたい」と思わせる訴求力があります。また、鮮度が落ちないように保冷剤を入れているものもあり、各産地の工夫が見てとれます。

4月中旬からは、同じく初夏の季語である「蚕豆（そらまめ）」をよく目にするようになりました。5/1現在、都中央全体で約44トンの入荷があり、5月中旬から下旬にかけて出荷のピークを迎える見込みです。

4月は東京都心の夏日が9日と観測史上最多となり、期せずして季語と気温の実感が一致しました。旬の味覚をお楽しみください。



タケノコの競り



いろいろなタケノコの荷姿



ソラマメはこれから出荷のピークを迎えます